



町長日誌 No.113

町長日誌の第113号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

3月19日(火) PM6:00

毎週土日になると吹雪模様になるという気象状況が続いています。3月2日には痛ましい事故が湧別町をはじめ全道でありましたが、それでも道路の舗装がすっかり見えるようになり昨夜は雨も降るなど、着実に春の足音は聞こえ出しました。今日も午前中から春一番の様な強い西風が吹いています。

明日20日には、春を告げる毛ガニ漁のカゴが海に入れられるようです。今日午前10時から、沙留小学校の卒業式が行われ、出席をさせて頂きました。私は、毎年出来るだけ入学・卒業式に出席して、お祝いの言葉を述べさせてもらっていますが、今年も3月1日の興部高校、15日は興部中学校、18日ははまなす幼稚園、そして今日は沙留小学校の卒業式に出席しました。どの卒業式も大変感動的で素晴らしいことは言うまでもありませんが、今回特に感激した卒業式がありましたので、そのことをこの日誌の中で“特集”として書くことにしました。

3月15日(金)

9時30分から行われる興部中学校の卒業式に出席しました。今年の卒業生は男子16名女子23名の39名です。式は、卒業生入場に始まり、国家・校歌斉唱に始まり堀田校長先生の式辞、来賓祝辞そして恒例であるPTAから印鑑が記念品として贈られ在校生代表のお祝いの言葉や合唱と続きます。ここまでは普通の卒業式の風景なのですが、担任の花房浩二先生が式の途中からしきりにハンカチを目頭に持っていきではありませんか！女性の先生であれば涙ぐむ光景はよく見ることなのですが、男性でしかもベテランの先生ですから私は「ずいぶん涙もろい先生だなあ！」位に思っていました。しかし、卒業生代表のお礼の言葉が始まると式場の様子は一変しました。挨拶をしたのは道順史也君でした。普通、この挨拶文には先生が用意する定型文があって、それにその時のエピソードなどを入れて作成するのが普通なのですが、最初の時候の挨拶以降からどうも違うのです。今回の卒業生は、平成10年生まれで平成16年に小学校入学、そして平成22年に興部中学校に入学しました。私が町長になったのが平成15年ですから彼らが保育所や幼稚園の年長の時から行事を通じてこの十年間成長を覗いてきました。役場職員をはじめよく存じ上げている方のお子さんも多いクラスですので、他の学年と比較することは決して好ましくないことなのですが、何と無く気になる生徒たちでした。さて、道順君の挨拶は、1年生の時の担任の先生や副担任、さらには堀田校長先生等3年間に亘ってお世話になったすべての人と言ってもいいぐらい細やかに、しかも素直な言葉で淡々と感謝の気持ちを述べるのです。来賓席で私の隣に座っていたPTA会長のお話では、お礼の言葉の文章は何人かの合作との事でした。とにかくとつとつとした語り口なのですが、3年間の思いがぎゅっと詰まった内容の上に自分たちの言葉で文章を作っていますから、聴く者の心を強く捉える言葉なのです。ですから、担任の花房先生はもう堪りません！滝の様な涙なのです。校長先生も教頭先生もそしてすべての先生が涙しているのです。勿論、ほとんどの卒業生も同様なのは言うまでもありません。最後には、お礼の言葉を読んでいる道順君自身も感極まり涙で言葉が詰まってしまう、そんな状況になりました。その時、私の胸には、何やら遠い昔に味わったような、懐かしい様な、得も言われぬ温かいもので溢れんばかりでした。この卒業生たちは、1年時は花田和也先生が担任でしたが、転勤により2年生の時から花房先生に替わりました。しかし、先生もご自分で述べられているのですが「自分は無骨で頑固で不器用なため、思っていることを上手に子供たちに伝えられなかった」ようで、多感な中学2年生である事に加え、子供たちも周りに遠慮して胸の中に言いたいことを溜めてしまう性格の子が多く大変に苦労していたことは、私の耳にも入っていましたし、運動会や学校祭に行くとそのことがよく分かりました。他の学年よりも意気込みは高いのですが思う様な結果に繋がらないのです。こんなことは誰もが一度や二度は経験することではあるのですが、新しい担任と39名の子供たちにとっては壮絶なドラマであったと思います。でも、それを彼らはぶつかり合いながら、多少傷つきながらも何とか乗り越え、3年生になり最上級生となったこともあってか、思いと行動が一致するようになり、周りからも認められるようになり、その成果は、運動会や学校祭などで圧倒的なパワーで形になったと思われまふ。この事は生徒たちも、先生方も、父母も認めるところでありましたので、道順君の言葉に全員の心が感動のピークに達したのであります。これは、私の思い込みや想像の部分もある事は付け加えておきますが、今日、いじめや体罰など教育現場の荒廃が常時マスコミに取り上げられますが、教育は未完成な子供たちに様々な目標や課題、時には試練を与え、一人前の大人に成長してもらうことだと思っています。従って、揉めたり、ぶつかったり、大人から見て「何をやっているのだ！」と言うような場面もあって当然だと思います。しかし、その試練をいかに先生や生徒、時には親と一緒に悩みぶつかり解決してこそ本当の教育と思っています。何事も無いように揉めないようにと言う教育環境では、社会で頑張れる人は育てられないと私は常々考えていますので、この3年A組の生徒と真摯に向き合ってくださいました堀田校長先生や花房先生はじめ先生方に心から感謝をいたします。そして、何よりも頑張った3年A組の皆さんのこれからの飛躍にエールを送ります。素敵な卒業式をありがとうございました。

3月15日に定例議会が終わり25年度の町の予算が決まり、18日には新年度からの職員体制のための人事異動の内示を行いました。去る人来る人、いよいよ25年度の始まりです。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。